

2016年度

青少年ネット環境整備タスクフォース

関連取組み



1億人のネット宣言
もっとグッドネット

2016年12月15日

安心ネットづくり促進協議会

安心協での啓発取り組み

総務省TF「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関する論点とその解決に向けた方向性」(7/29) に対し、安心協での取り組みについて下記のように整理された。

提言項目	関連アクション
教材に掲載することが望ましい必須項目（※）を、関係機関が主体となって洗い出し、何かしらの基準（又はメルクマール）を策定する ※：実例を含む情報モラル育成に向けた内容、フィルタリングの有効性等	教材チェックシートの策定と展開
全般的な啓発教材の充実・現行化を促す観点から、作成主体自らによる教材の自己点検を早急に実施する	上記チェックシートを使った自己点検ガイド策定と展開
学校や自治体、個人が、一定水準を満たす教材を自由に選択し使用できる環境を実現するため、各団体・事業者が定める教材の他者への使用基準の見直しを行うとともに、これらの情報の集約とウェブサイト等を活用した公表・周知を積極的に行う	学習コンテンツ一覧の棚卸と検索改善
各事業者が行う各種啓発講座について、時期、場所、対象や内容を含む情報を集約の上、ウェブサイト等を活用した公表・周知を行う	出前講座一覧の棚卸と検索改善
学校や自治体、個人が、適切な教材・講座を利用できるよう、教材内容の水準を満たすとともに公表されている教材・講座に対して、関係機関による共通のマークを付与することについての実現可能性の検討を開始する	チェックシート、自己点検の将来像として今後検討
各団体・事業者が実施している各種啓発講座について、各団体、関係者間においてキーメッセージの統一や、青少年の利用するメディア等を用いた共同での広報等を実施する	フィルタリング新モードにかかる啓発
従前以上に保護者・教育関係者の理解向上に配慮した取組を実施すべき	低年齢子ども保護者向け啓発資料策定と展開


「啓発教材自己チェックリスト」を安心協webページで公開する

自己チェックの目的

(1) ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材について考慮すべきポイントを「チェックリスト」としてまとめ、作成主体自らが自己点検（セルフチェック）を行い、教材の改善を図っていくことで、全般的な啓発教材の質の向上を目指す。

(2) 本チェックリストを多数の方に利用いただくことで、ネットの安心・安全な利用に対しての一助となる事を目指します。その為に、今後も適宜内容を見直し、改訂を行って参ります。

2016.●●ver



啓発教材自己チェックリスト(案)

会社名:	
教材名:	
実施日:	

自己チェックの目的

- ICTに関する啓発活動を実施する際に作成した教材について考慮すべきポイントを「チェックリスト」としてまとめ、作成主体自らが自己点検（セルフチェック）を行い、教材の改善を図っていくことで、全般的な啓発教材の質の向上を目指します。
- 本チェックリストを多数の方に利用いただくことで、ネットの安心・安全な利用に対しての一助となる事を目指します。その為に、今後も適宜内容を見直し、改訂を行って参ります。

本チェックリスト利用上の注意点

本チェックリストは、教材作成を行う上で作成者自らが最低限考慮すべきポイントが盛り込まれているかを確認することができるようにチェックリスト形式でまとめたものです。啓発活動を行うための運営体制までは深く言及しておりません。また、点数による比較・評価を目的としたものではありません。教材を作成したり、改善されたりする際の目安として、ご利用いただければと考えております。

分野	項目	チェック内容	チェック欄
1. 啓発の対象者	(1)	対象者の年齢、立場(児童・生徒・学生、保護者、教育関係者など)に適した内容となっているか。	<input type="checkbox"/>
	(2)	対象者に対して、適した表現が使われているか。	<input type="checkbox"/>
	(3)	情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっているか。	<input type="checkbox"/>
2. ネット利用上のリスク	(4)	取り上げるネット利用のリスク(例えば「ILASの7分類」など)を意識して作成されているか。	<input type="checkbox"/>
	(5)	取り上げるリスクに関して、適切かつ具体的な解決策を導き出せる内容になっているか。	<input type="checkbox"/>
	(6)	具体的事例を示すなど、対象者がイメージしやすい(当事者意識できる)内容となっているか。	<input type="checkbox"/>

マニュアル

啓発教材自己チェックマニュアル

安心ネットづくり促進協議会

2016年〇月

1. 各チェック項目の解説

〈3〉 チェック内容 情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっているか。

※例えば、フィルタリングを推奨するのであれば、「フィルタリング等で防げる内容（技術・機能）」と「防げない内容（使い方）」のように対象者が明確に示されているかどうか。

〈4〉 チェック内容 取り上げるネット利用のリスク(例えば「ILASの7分類」など)を参照して作成されているか。

「ILASの7分類」とは……

- インターネット上の違法コンテンツ、有害コンテンツに適切に対応できる。
 - 違法コンテンツの認識を理解し、適切に対応できる。
 - 有害コンテンツの認識を理解し、適切に対応できる。
- インターネット上で適切にコミュニケーションができる。
 - 情報発信の取扱い、適切なコミュニケーションができる。
 - 電子メールの認識を理解し、適切に対応できる。
 - 利用料金や情報の料金に留意して利用できる。
- プライバシー保護や適切なセキュリティ対策ができる。
 - プライバシー保護を適切に利用できる。
 - 適切なセキュリティ対策を講じて利用できる。

(項目と内容案、展開方法は検討中)

【対象者を意識した内容】

1. 対象者の年齢、立場（児童・生徒・学生、保護者、教育関係者等）に適した内容であること。
2. 対象者に対して、適した表現が使われていること。
3. 情報モラル、情報セキュリティ、情報リテラシーなどの幅広い内容の中で、何を伝えたいかが明確であり、それが対象者に伝わるものとなっていること。
3. 啓発する内容の対象範囲が明確になっていること。

【リスクについて】

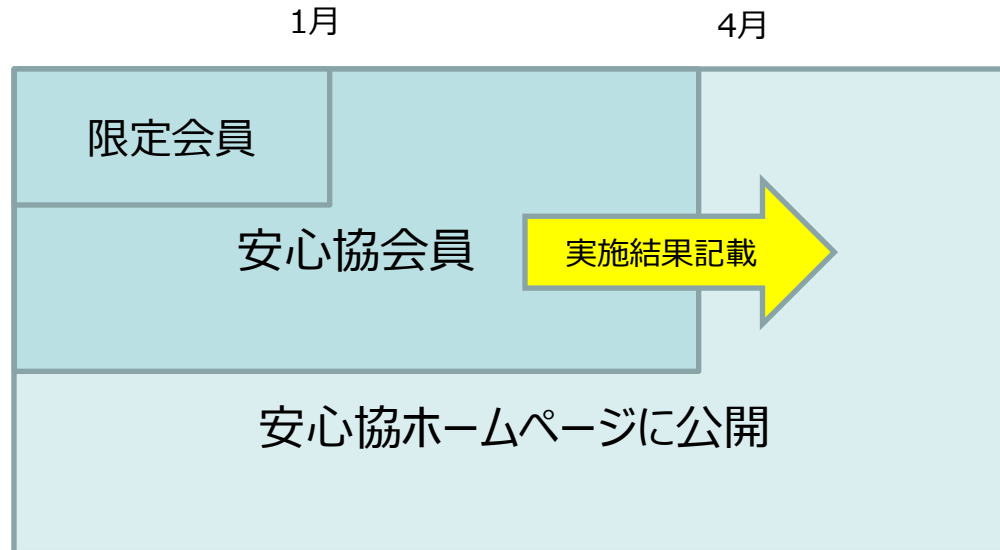
4. 取り上げるネット利用のリスク（例えば「ILASの7分類」など）を意識して作成されていること。
5. 取り上げるリスクに関して、適切かつ具体的な解決策を導き出せる内容になっていること。
6. 実例を具体的に示すなど、対象者がイメージしやすい（当事者意識できる）内容となっていること。

【情報提供の正確性】

7. 最新の情報が反映されていること。（内容を定期的に見直し・修正を行うこと）
8. 提供する情報の真正性が維持されていること。
9. 提供する情報の出典元が明らかになっていること。
10. 提供する情報が特定の事業者・団体やサービスについての宣伝や中傷にならないこと。
11. ネットの利活用を妨げる内容とならないこと。

(1) 展開方法

安心協会員による自己チェックを行い、内容を見直し後、安心協HPに公開



(2) 実施後の掲載

点検後、安心協ホームページで紹介している教材に、自己点検済みであることを記載

出前講座一覧／学習コンテンツ一覧の棚卸と検索改善

各事業者・団体の研修・教材情報を安心協webページで公開する

掲載内容

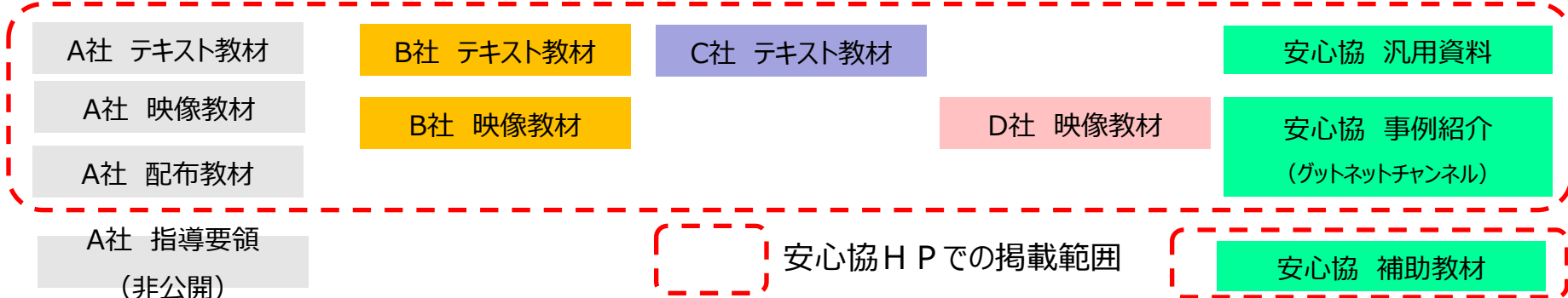
現在は、各社の情報を一覧表示



各団体のHPへ



(1) 教材ごとに整理して表示



(2) 必要な啓発内容から検索

閲覧者（受講者、教材利用者）が検索しやすいように
講義内容（セキュリティ対策、フィルタリング、コミュニケーショントラブル 等）を選択

フィルタリング「新モード」の説明および利用上メリットやリスクについて
安心協Webページ上で説明

＜掲載候補＞

- ◆ 「青少年のスマホ利用のリスクと対策」
（フィルタリング等の説明ページ）
- ◆ 「青少年の安心安全なインターネット利用のために」
- ◆ 「ソーシャルメディアガイドライン」からリンク
（SNS利用注意点は一般財団法人インターネット協会『その時の場面集』へ）

保護者のための

青少年のスマホ利用のリスクと対策

MENU

- フィルタリングサービスを利用しましょう!
- セキュリティ対策は万全に!
- 自分のプライバシーは自分で守りましょう!
- 予想外の高額利用とならないためには!


事例

高校1年生のマサオくんは最近、スマートフォンを購入したときに、販売店で携帯電話会社の説明を受けたので、有害なサイトにはアクセスできなかった。ところが、中には恐喝まがいの高額請求メールが届いたことになったのでしょうか？

原因は、マサオくんが無線LAN（Wi-Fi）接続でスマートフォンを使用していたため、フィルタリングサービスが適用されなかったことによる。

インターネットを利用する際に、知っておきたい『その時の場面集』



<p>成果物</p>	<p>保護者の不安（対応すべきリスク）項目に対するフィルタリング等の対策についてのチャート、及び関連対策・設定手順書、説明補助資料（全8ページ、B5、C4、1月リリース予定）</p>
<p>対象</p>	<p>低年齢層子どもの保護者および保護者向けに啓発を行っている方 ※低年齢層子どもの保護者をメインとするが、子ども年齢を限定せず使えるよう配慮</p>
<p>本編内容（案）</p>	<ul style="list-style-type: none">保護者へ子どもがスマホを使わせる際の注意喚起保護者の不安（対応すべきリスク）項目に対する対策<ul style="list-style-type: none">－使いすぎについて（依存、健康被害）－不適切情報に触れることへの対策技術的な対策例の説明大人向けのスマホチェックシート相談窓口 

低年齢子ども保護者向け啓発資料策定と展開

どんなことに不安を感じていますか？

- ① ネット依存
- ② 対面コミュニケーションへの影響
- ③ 学習・成績への影響
- ④ 身体（目、姿勢、ほか）や健康への影響
- ⑤ ネットいじめ被害／加害
- ⑥ 個人情報の漏えい
- ⑦ 誘い出しや性的被害
- ⑧ 課金
- ⑨ 不適切な情報発信
- ⑩ 不適切な情報に触れること、およびその影響

※ 完璧な防止はできませんが、⑥ ⑧ はウイルス対策で、⑦ ⑧ ⑨ ⑩ はフィルタリングで、不安の軽減が可能です。

また、⑤に関しても、SNSへのアクセス制限で緩和できる範囲の不安については、フィルタリングが役立ちます。

設定説明資料

機能制限



Webサイト



機能制限



年齢が低ければ知識不足が、高ければ慣れが原因で、判断ミスやうっかり操作による危険が生じがち。知識や経験の不足を補い、うっかりアクセスを回避してくれるフィルタリングは、トラブルを減らす頼もしい味方です！

安全な利用環境 = **子供を守る仕組みの導入・設定** + **OS (基本ソフト) や導入ソフトを常に更新**

不安（リスク）の多くは、ツール（技術）によって軽減可能
技術に任せられる部分は任せておいて、大人は、それ以外の適切な対応や言葉かけ等に取り組みませんか？

貸し出し機や機種変に伴うお下がり機も含め、お子様が使う機器には安全対策を忘れずに行いましょう。もちろん小型ゲーム機や音楽プレイヤーにも忘れずに！